

ぶらり宮代 vol.5 みやしろ姫神ウォーク

宮代町は姫伝説に満ちています。そんな姫伝説を訪ねてみませんか。そして、豊かな自然に彩られた町を散策してみましょう。



姫宮神社

2 女躰宮 (によたいぐう)

京都に学問を教えに行っていた蓮谷（本田3丁目）の鈴木家の先祖は貴族の三条家の姫君と恋仲となりました。しかし身分の違いから結ばれることはないと感じ、鈴木家の先祖は蓮谷に戻ってしまいました。三条家の姫君は彼を慕い追いかけて来ましたが、途中何者かに襲われたため、鈴木家近くの池に身を投げてしまいました。付近の人たちは姫君を哀れに思い、池のほとりに女躰宮を祀って姫の霊を弔いました。



3 進修館 (しんしゅうかん)

進修館は、町民が集い、創造する場として親しまれ、様々なコミュニティ活動の拠点となっています。「大ホール」など大小8つのスペースがあり、様々な活動に利用されています。そのユニークな外観から、町のランドマークとして広く親しまれています。進修館の名称は、百間小学校の前身である「進修学校」の名前にちなんで名付けられました。



4 ほっつけ田

笠原沼新田（田んぼ）には「ほっつけ」と呼ばれる多数の櫛歯状の沼（堀）がありました。田んぼは、掘上田（ほりあげだ）とも呼ばれます。もともとは、堀付田（ほりつけだ）が変化し「ほっつけ」となったと推定されます。宮代町では櫛歯状の沼（堀）のことを「ほっつけ」とよびます。笠原沼新田は、享保14年（1729）に幕府の役人の井沢惣兵衛為永により開発されました。当初は掘上田ではありませんでしたが、水が抜けにくいことから、櫛歯状の堀をつくり、周囲の田んぼをかさ上げし、米がとれやすいようにしました。現在、新しい村には「ほっつけ」の一部が整備されています。

“みやしろ姫神ウォーク” コース vol.5

総距離:約6km 所要時間:約3時間30分

- | | | |
|------|---------------|--------------|
| スタート | 1 東武動物公園駅西口広場 | 東武鉄道杉戸工場跡 |
| | 2 女躰宮 | 貴族三条氏の姫君の伝承 |
| | 3 進修館 | 宮代町のランドマーク |
| | 4 ほっつけ田 | 井沢惣兵衛為永の新田開発 |
| | 5 赤松浅間社 | 木花開耶姫命 |
| | 6 農の道 | 大宮大地と底地のはざま |
| | 7 郷土資料館 | 地域の歴史伝承の本山 |
| | 8 姫宮神社 | 宮目姫の伝説 |
| ゴール | 9 姫宮駅 | 昭和2年開業 |

【注意事項】 散策をするときは、交通量の多い道路や河川沿いなど、交通安全には十分ご注意ください。また、ゴミはお持ち帰りいただくようお願いいたします。自然路や史跡など、コース周辺の見どころには私有地が多く含まれますので、所有者とのトラブルにならないようご注意ください。

memo

【参考・引用文献】 本資料をまとめるにあたり宮代町発行の下記の資料を参考にしています。
○宮代町史 通史編/社寺総合調査 ○宮代の道/平成15年度 宮代町郷土資料館企画展
○みやしろ歩け歩け!/平成21年度 宮代町郷土資料館企画展 ○その他宮代町関連資料

「**れきし** 歴自」とは…みやしろ市民ガイドクラブのシンボルマークです。「歴史」と「自然」を合わせた合成語です。

宮代町役場ホームページ
<http://www.town.miyashiro.saitama.jp/>

新しい村ホームページ
<https://www.atarasiimura.com/>

発行: 宮代町産業観光課・みやしろ市民ガイドクラブ
協力: 宮代町郷土資料館
〒345-8504 南埼玉郡宮代町笠原1-4-1
お問い合わせ: tel.0480-34-1111
201603/5,000

ぶらり宮代 vol.5



ここがみどころ!

- 姫宮神社の宮目姫の伝説
- 京都の貴族三条氏の姫君の伝説
- 姫宮神社に残る古墳群
- 郷土資料館の旧加藤家と旧齋藤家



姫宮神社古墳



旧齋藤家住宅



旧加藤家住宅

